

3R って何だろう？

リデュース・リユース・リサイクル推進協議会

3Rは Reduce (リデュース)、Reuse (リユース)、Recycle (リサイクル) の3つのRの総称です。

Reduce

リデュース

原材料を効率的に利用する、製品を長く使う、製品の稼働効率を高めるなどすることにより、廃棄物等の発生をおさえること。

Reuse

リユース

いったん使用された製品、部品、容器等を繰り返し使用すること。

Recycle

リサイクル

使い終わったものをもう一度原材料に戻して製品を作ること。

何のために3Rをするの



リデュース、リユース、リサイクルすることにより、

- 天然資源の消費をおさえ
- 環境への負荷をできる限り低減し

持続可能な循環型社会を実現するためです。

Point

3R 推進ポスターデザインのポイントは、
**事業者に3R（リデュース・リユース・リサイクル）
活動の推進を促すこと**
です。

事業者ができる3Rは何



例えば

Reduce

リデュース

- 製品、部品、容器などをできるだけ少ない材料で構成することや長寿命化を考えて設計する。
- 原材料を無駄なく利用して製品を製造する。
- 修理や点検などのアフターサービスを充実させて、製品の長寿命化を推進する。
- 食品ロスの削減を推進する。
- 使用頻度の低いものはシェアする仕組みを導入する。

Reuse

リユース

- 使用済み製品、部品、容器（リターナブルびんなど）を回収して再使用する。
- リユース可能な製品を製造する。
- 使用済み製品を回収して、本体や部品を補修し、再び新品同様の製品を作る。

Recycle

リサイクル

- リサイクルしやすい製品を設計する。
- リサイクル原材料を使用する。
- 自社製品を回収してリサイクルする。
- 工場や工事現場で発生した副産物、使用済み製品を効率的にリサイクルする。

具体的には事業者はどんな努力をしているの



事業者の優れた3R活動の具体例は

リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰 受賞者一覧
をご覧ください。

3R 表彰 受賞者一覧

検索



皆さまからの「事業者の3R」を推進する
アイデアをお待ちしています！